

令和2年度宮城県地方公会計財務書類の概要について

概要

地方公会計制度は、予算の適正・確実な執行に優れた単式簿記による現金主義会計に対し、複式簿記・発生主義の考え方を取り入れることで、資産や負債といったストック情報や、減価償却費等の現金の出入りを伴わないコスト情報を把握し、財政状況の「見える化」を図るとともに、限られた財源をより効果的・効率的に配分するための新たなマネジメントツールとして活用が期待されています。

【現行の予算・決算】

単式簿記かつ現金主義

- 現金の増加・減少という観点で捉え記録
- 予算の適正・確実な執行に優れる

[主な予算・決算資料]

- ・歳入歳出予算及び決算書
- ・地方財政状況調査 など

【地方公会計】

複式簿記かつ発生主義

- 保有する資産・負債等のストック情報の把握が可能
- 現金に現れない減価償却費等を含めたフルコスト情報の把握が可能

[整備する資料]

- ・統一的な基準に基づく財務書類
- ・固定資産台帳

補
完

財務書類の対象範囲

連結財務書類 (広義の)行政サービス実施主体

一般会計等財務書類

一般会計

特別会計 8会計

全体財務書類

国民健康保険特別会計

港湾整備事業特別会計

公営企業会計 4会計

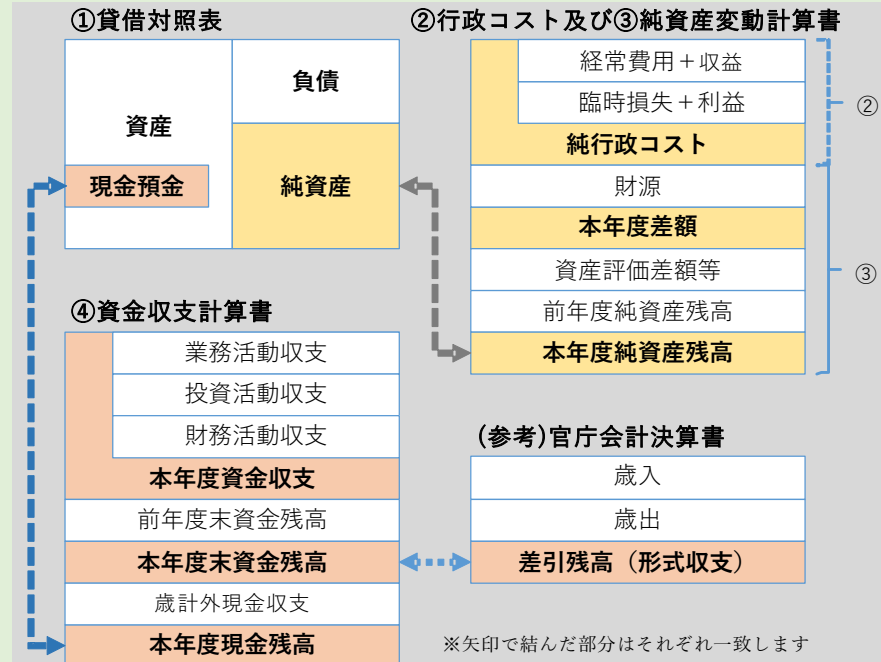
地独法
3団体

地方
三公社

三セク等

財務書類の関係等

【財務諸表の関係及び作成・公表する財務書類】



①貸借対照表 資産、負債、純資産の残高及び内訳を明らかにすることを目的として作成する財務書類

②行政コスト計算書 一会計期間中における行政サービスの費用、収益を明らかにすることを目的として作成する財務書類

③純資産変動計算書 貸借対照表の「純資産」の変動を明らかにすることを目的として作成する財務書類

④資金収支計算書 行政活動に伴う資金の流れを「3つの活動」に区分し明らかにすることを目的として作成する財務書類

注記及び附属明細書 会計方針、補足説明、簿外情報や注記の内容を補足する重要な事項を表示する資料

固定資産台帳 固定資産をその取得から除売却処分に至るまでの経緯を個々の資産ごとに管理するための帳簿資産価値の増減を記録している帳簿(管財課HPで公表)

令和 2 年度一般会計等財務諸表

※本資料は表示単位未満を四捨五入しているため合計が合わない箇所があります

貸借対照表

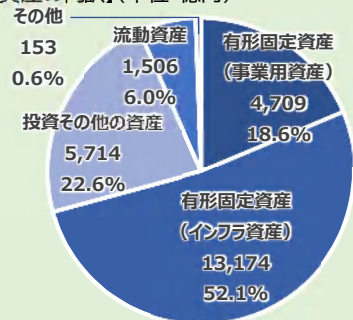
令和 3 年 3 月 31 日現在の資産は 2 兆 5,256 億円（前年度比+17 億円）、負債は 1 兆 8,697 億円（同比+120 億円）及び純資産は 6,559 億円（同比▲102 億円）となりました。なお、負債のうち臨時財政対策債は、6,368 億円と負債全体の 34.1%（地方債全体の 38.5%）を占めています。

また、「負債」のうち地方債は、令和元年東日本台風関連による災害復旧事業債の増加や、新型コロナウイルス感染症による減収に対応するための減収補填債の発行などによりその残高が増加しています。

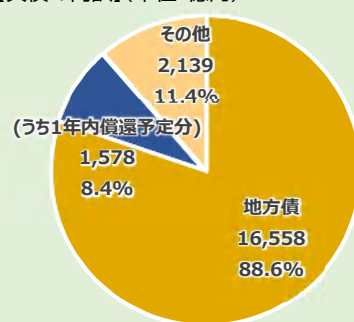
（単位：億円）

勘定科目	R2 a	R元 b	増減 a-b	勘定科目	R2 a	R元 b	増減 a-b
固定資産	23,749	23,770	▲ 21	固定負債	16,885	16,645	241
流動資産	1,506	1,468	38	流動負債	1,811	1,932	▲ 121
資産合計	25,256	25,238	17	負債合計	18,697	18,577	120
				純資産	6,559	6,661	▲ 102
				合計	25,256	25,238	17

【資産の内訳】(単位:億円)



【負債の内訳】(単位:億円)



【有形固定資産(事業用資産)の内訳】(単位:億円)

土地	1,859	建物	2,515	その他	178
		工作物	157		

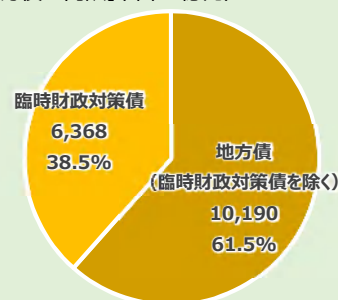
【有形固定資産(インフラ資産)の内訳】(単位:億円)

土地	3,147	建物	303	工作物	7,625	建設仮勘定	2,099
----	-------	----	-----	-----	-------	-------	-------

【投資その他の資産の内訳】(単位:億円)

投資及び出資金	1,552	長期貸付金	1,216	基金	2,872	その他	74
---------	-------	-------	-------	----	-------	-----	----

【地方債の内訳】(単位:億円)

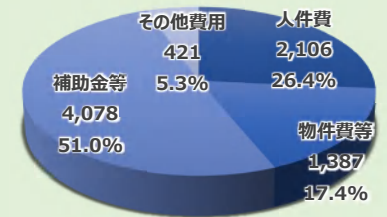


行政コスト及び純資産変動計算書

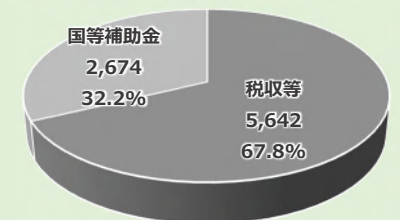
(単位：億円)

科目	R2 a	R元 b	増減 a-b
経常費用	7,992	7,124	868
経常収益	258	268	▲10
臨時損失	628	701	▲73
臨時収益	5	5	0
純行政コスト	▲8,357	▲7,551	▲806
財源	8,316	7,757	558
本年度差額	▲41	206	▲247
資産評価差額等	▲61	▲6	▲56
本年度純資産変動額	▲102	201	▲303
前年度純資産残高	6,661	6,460	201
本年度純資産残高	6,559	6,661	▲102

【経常費用の内訳】(単位:億円)



【財源の内訳】(単位:億円)



令和 2 年度の純行政コストは新型コロナウイルス感染症への対応に伴う費用増加により 8,357 億円となり、税収等及び国等補助金を合計した財源 8,316 億円との本年度差額は▲41 億円となりました。

また、本年度純資産変動額は▲102 億円で前年度純資産残高 6,661 億円と合わせ、本年度純資産残高は 6,559 億円となりました。

資金収支計算書

【収支別の内訳】(単位:億円)

財務活動支出	財務活動収入
1,669	1,828
投資活動支出	投資活動収入
2,855	2,603
臨時支出	臨時収入
534	1,285
業務支出	業務収入
8,193	7,573

財務活動収支—

+ 159 億円

投資活動収支—

▲247 億円

業務活動収支—

(臨時収支含む)

+ 131 億円

本年度収支—

+ 42 億円

令和 2 年度の資金収支は業務活動収支 + 131 億円、投資活動収支 ▲247 億円、財務活動収支 + 159 億円となり、本年度資金収支は + 42 億円となりました。